

事務事業名	学校づくり教育活動推進支援事業			担当	教育委員会 学校教育課 指導係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 H8 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	2. 小学校費, 3. 中学校費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	この事業は、あらかじめ設定された課題に取り組むという、これまでの研究事業の形から転換して、各学校が独自に目標を設定し、地域や学校の特色を活かしながら、創造性あふれる教育活動を展開することを目的としている。各学校では、読書活動の推進、自然体験活動の充実、学校行事の活性化、心の教育の推進、生きる力の育成、国際理解教育の推進等々、それぞれに目標を掲げ、地域の協力を得て活動の場を広げ、教育活動の充実に努めている。この事業は、事業費（18万円）を一括して各学校に交付していることから、機動的に富む教育活動が行われており、地域に開かれた学校づくりに効果をあげている。対象経費は、謝礼などの報償金、消耗品費や印刷製本費、土地の借上料などである。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 年度始めに学校の事業計画書を添付した交付申請に基づき、交付金（1校当たり18万円）を支出した。 31年度計画 昨年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移									
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
	ア	小・中学校の数	校	27	27	27	23	23		
	イ	交付金額	千円	4860	4860	4860	4140	4140		
	ウ エ オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市内小・中学校	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移									
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
	ア	小・中学校の数		27	27	27	23	23		
	イ ウ エ オ									
	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 学校や地域の教育力を高め、創造性にあふれる特色ある教育活動を展開する。	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
	ア	創造性にあふれる特色ある教育を実施した学校数	校	27	27	27	23	23		
	イ ウ エ オ									
	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 新しい学力観に立つ教育、子どもの良さや可能性を高めていく教育の推進。	ア		学校の充実が図られたと感じている学校の割合	%	100	100	100	100		
	イ ウ エ オ									
	(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
	投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
				県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債				千円	0	0	0	0	0	
その他				千円	0	0	0	0	0	
一般財源				千円	4,860	4,860	4,860	4,140	4,140	
事業費計(A)		千円	4,860	4,860	4,860	4,140	4,140			
人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	22	22	22	22	22		
		人件費計(B)	千円	92	91	91	92	92		
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,952	4,951	4,951	4,232	4,232			

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	各学校では、地域や学校の特性を活かした教育活動を展開しているが、社会の変化に柔軟に対応できる児童生徒の育成を図るため、新しい学力観に立つ教育、子どもの良さや可能性を高めていく教育の推進が求められているため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	凶悪な犯罪の低年齢化などから、命の大切さや心の教育の重要性が叫ばれるようになった。知識偏重や詰め込み教育などの反省から、ゆとりの教育が求められている。平成12年度には、総合的な学習時間が始まったため、事業費も20万円から25万円に増額した。平成14年度から完全学校週5日がスタートし、地域の教育力の向上とともに、地域に開かれた教育づくり、地域との連携が深まっている。平成17年度から交付額を5万円減額し1校当たり20万円とした。平成22年度から交付額を2万円減額し1校当たり18万円とした。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	市議会一般質問で、各学校一律の配分ではなく、学校規模（児童生徒数やクラスの数）に応じた額が望ましいのではないかとの意見もある。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 「心豊かで人間性あふれた人づくり」を目指していることから、市の上位施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 「心豊かで人間性あふれた人づくり」を進める上で、学校づくりを支援することは市の施策である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市内のすべての小・中学校が対象であり、学校の創意工夫による教育活動がますます重要となっており適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 各学校の特色を打ち出し、地域との連携を密にし、より開かれた学校づくりを行っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 地域や学校の特色を活かした創造性あふれる教育活動ができなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 学校や地域の特性を活かした教育活動の推進に必要な最小限の経費である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の事務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 義務教育の充実を図るための経費であり、受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不十分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							